

諸国民に分かれて

創世記一〇章

以上が、国ごとの系図によるノアの息子の氏族である。洪水の後、地上の諸国民は彼らから分かれ出た。(32)

今日、世界には多種多様な民族や種族が存在していますが、それぞれの歴史を遡ると、全てここへと至って一つとなります。いかなる地域のいかなる民族も、元をたどれば同じ一つの枝から出たことを聖書は語っています。決して敵対すべき相手ではなく、心を合わせるべきお互いなのです。ところが、人間の罪は、同じ一つの民の中に分裂をもたらし、憎しみ合う者たちにしてしまいました。キリストの福音は、種々に分かれてしまった民族をもう一度一つにしようとするものです。本来人類はお互いに敵対し合うべき存在ではなく、同じ神から出た者たちとして尊び合うべき者たちなのです(ガラテヤ三28)。同じ一つの神の祝福を受ける者たちとして、自国の民族だけでなく、他の国の方々をも大切にしていく私たちでありたいと思います。私たちの信じる神は全世界の神だからです。